



1/9(土) ぐっどらんど 新年会 (左 ゲーム、右 書初め)

# あゆみの家

No. 127号

## 福祉人材の確保

今年(2021)は、市町村で三年(2019)に見直される障害福祉計画の実施初年になります。今回の第六期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画について、それぞれの市町村における障がい児・者の実態調査結果や計画策定のための国の基本指針(2010/5)などに基き作成されています。

この国基本指針では、次の七つのことに配慮して計画作成する必要があることが示されています。

- 一 障害者等の自己決定の尊重と意思決定の支援
- 二 市町村を基本とした身近な実施主体と障害種別によらない二元的な障害福祉サービスの実施等
- 三 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就業支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備
- 四 地域共生社会の実現に向けた取組
- 五 障害児の健やかな育成のための発達支援
- 六 障害福祉人材の確保
- 七 障害者の社会参加を支える取組

六と七は、今回新しく加えられた指針です。国基本指針によろしく「福祉人材の確保」が盛り込まれました。素晴らしい計画ができあがっても、その計画を実現するのは支援する人です。福祉の現場では、障がいのある人たちの生活や活動・就労などを支える人たちが待ち望まれています。

## 半世紀

総合施設長 田口道治



ました。創立記念行事もその一つです。毎年四月の第一土曜日に開催されてきましたが、昨年は延期の上、中止となりました。今年も創立記念礼拝のみオンラインで実施されることになっています。特に、今年にあゆみの家が始まって五十周年となる記念すべき年にあたります。

私にとってあゆみの家との初めて出会いは、「赤い屋根のあゆみの家」(一九七二)ができた翌年のことでした。十七年前に天に召されたポーマン先生の車に同乗させていただき、見知らぬ栗原の地に来ました。一九八四年、「第二あゆみの家」建設工事が始まる年に職員となり、その後の歩みを共にしてきました。この頃は、「親亡き後」の問題を解決するために全国各地で入所施設の整備が積極的に進められていました。他方で、その三年前、一九八一年は「国際障害者年」として世界では「ノーマライゼーション」の流れが加速していました。あゆみの家ではこうした動向を踏まえ、グループホームの促進や在宅生活を支援するホームヘルプ事業、相談支援事業、就労支援事業など、障がいのある方々が地域で安心して暮らせる事業に取り組んできました。こうした地域生活の充実に向けた取組に深い理

解を持たれた素晴らしい職員に恵まれ、共に利用者のみなさまの支援に励んでくれたことに深く感謝しています。利用者支援の在り方も大きく変わってきています。福祉サービス利用の仕組みが、措置制度と呼ばれる行政が判断する仕組みから、事業者と利用者が契約によって利用する制度に変わって既に十八年が経とうとしています。十五年前には障害者権利条約も成立し、障がいのある人たちの実質的な平等の確保が目指されるようになっていきます。

現場の支援者に今求められていることは、障がいの「社会モデル」に基づく取り組みです。“障害者が体験する生きづらさは社会との関係の問題”とする考え方で、重い知的障がいのある方々にも、私たち支援者が“意思受信能力”を高め、一人一人の思いを汲み取り、それらを実現していけるようになることを願っています。言葉などによって自分の思いをうまく伝えられない方々、あるいは言葉のない重度の知的障がいのある方々の思いや願いをどのようにして汲み取るのか、聴き取る力、感する力、気づく力、共感する力、言語化する力などが、この「意思受信能力」です。

幸いにも、あゆみの家では、五十年前の初めから今日に至るまで、そのような想いで取組まれてきており、職員の熱意と努力を誇りに思っています。

一九八四年からあゆみの家で勤めてきた私の職員としての働きも、三月末で終わろうとしています。ポーマン先生の“一人を大切に”の意志を受け継ぎ、微力ながら駆け抜けてきた三十七年間でした。志を同じとする職員に恵まれ、共に福祉の仕事に携わって来られたことを、心より感謝申し上げます。



### やっぱり仕事は楽しい

ぐっどらんど 生活支援員 所 志保

ぐっどらんどでは、作業を主として行い、利用者の方は「仕事をしにぐっどらんどに来ている」「たくさんのお給料が欲しい」と、張り切って通所してきてくれる方が多くいます。私達職員は、作業を切らさないように、みんなが常に大好きな作業と関わることが出来るようにすることも意識しています。

コロナ感染予防をしながら、マスクを着用し続けて作業を行うようになって、一年が経ちました。昨年、緊急事態宣言が四月に出されて、色々なことが制限されていく中で、少しずつ企業からもらえる作業の量が減っていききました。作業時間に余裕ができ戸惑いを感じ、今、何をしていくことが良いのかと迷う時期がありました。

そんな時、『今だから出来る事は何だろうか』と、考えてみました。いつもはできないだろうと、決めつけてしまっていた事を出来るようになるようにチャレンジをする。治具を工夫し少しでも作業の幅を広げてみるなど、前向きに取り組む事が出来ました。

現在、新しい企業からのお仕事を頂き、作業に忙しくしています。まだまだ以前と同じ量とまではいきませんが、新しい作業に興味津々のみなさんです。「これは何に使うのだろ。」「こうしたらうまくできたよ。」「とお仕事が好きみなさんは楽しそうです。職員も、少しでも出来る可能性があるのなら工夫して根気よく取り組んでい

きました。

やっぱり、仕事があるってうれしいし、楽しい。そう話すぐっどらんどの仲間の姿をみて、職員はうれしく感じています。改めて、私たちの本当の役割、責任の一つとして実感しました。これからも、みんなが笑顔で作業に取り組む事が出来るようにし、そこから、自信や可能性が広がることの支援をしていきたいです。



### 新年の願い

デイセンターあゆみの家 生活支援員 柚原 知明

新しい年が始まりました。今年は新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令され、例年とは大きく異なる年末年始を過ごされた方が多いのではないのでしょうか。デイセンターあゆみの家では、新年最初の行事として書初め・抱負書き・餅つきを毎年行っています。コロナウィルス感染拡大防止の観点から、今年は餅つきを行うことを中止としました。このように今年度はこれまで当たり前のように行えていた活動ができなくなり、利用者さんにもたくさん不安を与えた一年だったと思います。書き初めも例年のように皆で集まって書く事はやめ、各グループで行うこととなりました。先の見えない不安が続く中、皆さんはいったいどのような想いを書かれたのでしょうか？

そこには「ラーメン」「ケーキ」といった食べたいものを書かれた方や、「がいしょく」「しんかんせん」のりた「い」などやりたいことを書かれた方、「おしごとをがんばる」など、抱負を書かれた方もみえました。利用者さん一人一人の希望や願いがそれぞれの字で力強く書かれており、想いがこもっているのを感じました。毎年皆さんの書かれたものをデイセンターのホールに飾っています。今年度も迫力のある壁面構成となりました。

りました。コロナが収束したあとこれまで通りの日常に戻るかはわかりませんが、この生活の中にも楽しみを見出し、新しい年度が利用者さんにとって充実した一年となるように、取り組みを考えていきたいと思えます。

「出来ることを、出来る方法で」



書き初め



みんなの書き初めを貼りました

が多くありました。しかし、そうマイナすなことばかりでもないと感じています。新しい生活様式の中で方法を変え出来る活動を今日まで模索してきたことで、新しい活動が生まれ、これまでであった活動の幅が広がったものがあ

### ワッフル移動販売

林町デイセンター 生活支援員 佐藤祐子

コロナ禍の中、外出自粛により皆さんと楽しく買い物やお出かけが出来ない日々が続いています・・・。そんな中！林町デイセンターではワッフルの移動販売をお招きしました！

以前、ぐっどらんどがキッチンカーをお招きし、皆さんと一緒に買い物や食事を楽しむ姿を拝見してから、林町デイセンターでも移動販売を体験してみたいという声が上がりました。早速、移動販売をして頂けるお店を探したところ、Miss Bettyさんのワッフルを移動販売して頂けると知り、お願いしました。事前にメニューを拝見させて頂き、皆さんとどんな種類のワッフルを買うか相談するも、新鮮なフルーツや、チョコレート、モンブラン、あんこ等、多様な種類のワッフルに皆さんどれにするか頭を悩ませていました。

当日、待ちに待ったMiss Bettyさんを皆さんで歓迎しました。事前に何を買うか決めていたとはいえ、多種のワッフルを実際目にするのと、お洒落で可愛いワッフルに「かわいい！」「早く食べたい！」「あのワッフルも美味しそう！」等、皆さん大興奮で喜ばれていました。利用者の方々にはご自身でお金を払い、商品を購入してもらいました。お店の方がレジ機を持参してくれており、利用者の方々にはご自身でお金を払う事で、徐々に買い物気分を味わって頂く事が出来ました。

午後からは、それぞれ購入したワッフルを食べました。たっぷり入った生クリームとトッピングに大きな声を出

して喜ばれる方や、笑顔で口を開けて待たれている方など、皆さん早く食べたくて待ちきれない様子でした。

皆さん昼食を食べているのにすごい食欲・・・。(笑) デザートは別腹です！と言わんばかりの表情を多くの方がされており、食べやすい様に加工やカットを行った後、召し上がられました。美味しさのあまり、一瞬で食べってしまった方もいれば、米粒程に箸でつまんでゆっくり食べられる方もいたり、皆さん様々な食べ方でワッフルを楽しまれていました。今回来て頂いたMiss Bettyさんのお店は岐阜県大野町にあり、初めてMiss Bettyさんの素敵なワッフルを見る方も多く、皆さんお持ち帰りが殺到しました。三個入りセットがお得な値段で販売されており、そのセットや、単品のお持ち帰りも沢山注文されていきました。帰ってもまたワッフルが食べられるから楽しみ！と、ご自宅で食べられる楽しみも一緒にお持ち帰りされていきました。

現在、コロナ禍で外出やお買い物物が通常の様に行えない中、利用者の方々には、久々のお買い物や普段召し上がらないワッフルを林町デイセンター内で美味しく頂き、楽しい気分を味わうことが出来て、私達も嬉しく思いました。また、このような形でテイクアウトや移動販売など取り入れていきます。



お礼状をお渡しし、記念撮影

## クリスマス祝会

クリスマス祝会実行委員長 伊藤佐知子

二〇二〇年は、コロナウイルス感染予防のため、これまで当たり前に行っていたことが出来なくなっただけで、あゆみの家祭や様々な行事が中止となりました。あゆみの家にとって大切な行事の一つである『クリスマス祝会』も例年通りではありませんが、感染対策を行い、十二月十九日に開催できた事を嬉しく思います。

例年のクリスマス祝会は、あゆみの家を利用されている方、保護者、ボランティアさん、職員の多くの方がデイセンタ―あゆみの家に集い、クリスマスをお祝いしながら事業所の垣根を越えて交流できる楽しい一日となります。今年は、大勢の人が集まるのが難しいため、事業所ごと(十二か所)に分かれてオンラインで開催することになりました。皆さんに会えない寂しさはありましたが、大垣ルーテル教会から配信される礼拝を真剣な表情で観ておられる利用者、児童文化研究会「みつばち」の人形劇を笑顔で鑑賞されている利用者など、クリスマスのひと時を楽しまれています。



オンライン配信を鑑賞



豪華なお弁当に大喜び

クリスマス祝会のもう一つの楽しみは、お昼ご飯とケーキです。例年の様に、好きな食べ物を食べたい分食べるバイキングではありませんでしたが、エビフライやハンバーグ、フライドチキン、ロールキャベツなど、とても豪華なお弁当で、皆さんお腹いっぱい。ゆっくりご自分のペースで食事を楽しむことが出来たようです。

来年のクリスマス祝会は、現在まだまだコロナウイルスが流行っている中でどのように開催出来るかわかりませんが、また皆さんと一緒に祝いすることが出来ることを願っています。

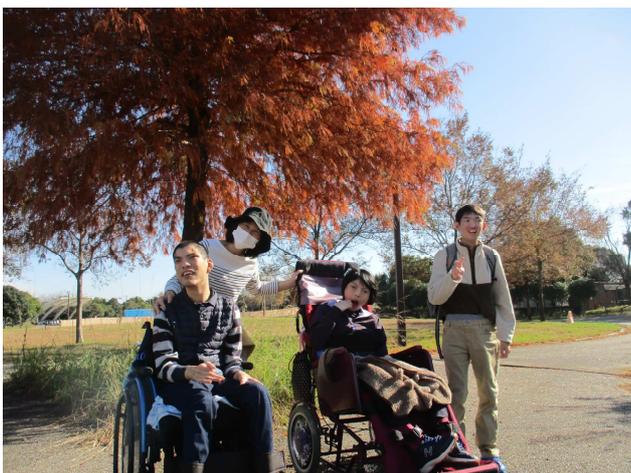
# 出来事ピックアップ



第二あゆみの家 (10/28)  
ポプラG バーベキュー



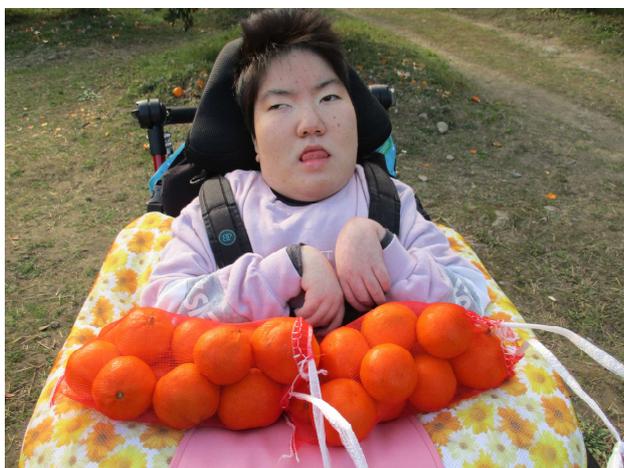
ぐっどらんど (11/17)  
歯科検診



林町デイセンター (11/26)  
ポップコーンG 1日外出 (木曾三川公園)



デイセンターあゆみの家 (11/30)  
パネルで写真撮影



林町デイセンター (12/1)  
ワンピースG 1日外出 (ミカン狩り)



第二あゆみの家 (1/30)  
カルタとり大会

### 行事予定

4/ 3 (土) 創立記念日 記念礼拝

### 最近のできごと (11/1~2/10)

- 11/ 4 (水) BBQ (第二あゆみの家 ふじG)
- 11/ 5 (木) 養老町役場販売  
(ぐっとらんど グッディG)
- 11/ 6 (金) 縁日 (第二あゆみの家 えーるG)
- 11/17 (火) キッチンカーで外食気分 ⇒  
(デイセンターあゆみの家)
- 11/27 (金) テイクアウト外食 (ぐっとらんど ドリームG)
- 12/ 1 (火) 1日外出 みかん狩り  
(林町デイセンター ワンピースG)
- 12/ 4 (金) テイクアウト外食 (ぐっとらんど ホープG)
- 12/15 (火) ハローワーク・特別支援学校4校・  
就業・生活支援センター連絡会議  
(就・生センター)
- 1/ 9 (土) 書初め (デイセンターあゆみの家)
- 1/ 9 (土) 成人を祝う会・新年会  
(林町デイセンター)
- 1/ 9 (土) 新年会 (ぐっとらんど)
- 1/19 (火) ワッフル移動販売  
(林町デイセンター)
- 1/27 (水) お疲れさま会  
(第二あゆみの家 やなぎG)
- 1/30 (土) カルタとり大会 (第二あゆみの家)
- 1/30 (土) 新春祭り (林町デイセンター)

### ふれあい交流、ボランティア (12/1~2/28)

新型コロナウイルス感染防止対策のため、しばらくの間、受け入れを停止させていただいております。

デイセンターあゆみの  
家にキッチンカーが  
やってきました!  
11/17 (火)



### 編集後記

この一年は、新型コロナウイルスへの対応に明け暮れた一年でした。何度も対策の会議を開き、職員への外出等の自粛をお願いしたり、マスクや、アルコール消毒液など感染対策用品の確保に苦労しました。そんな中、新しい発見がありました。昨年秋の合同職員研修会では、研修の発表は、各事業所で発表の動画を作成し、それぞれの事業所でその発表をみて研修をおこないました。各事業所が都合のよい日時に研修ができたので、ほとんど全職員が参加できました。(例年は7割程度の参加) コロナで発見した新しい研修会のやり方。コロナが終わっても続きそうです。(小林)

編集：社会福祉法人あゆみの家 URL <https://ayumi-ie.com/>  
〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2 E-mail [ay464h@he.mirai.ne.jp](mailto:ay464h@he.mirai.ne.jp)  
Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

### グループホームのご案内

- あゆみホーム  
大垣市三塚町
- めぐみホーム  
不破郡垂井町表佐
- 東神田ホーム  
不破郡垂井町東神田
- 別荘ホーム  
養老郡養老町橋爪
- 養老公園ホーム  
養老郡養老町養老
- 綾野ホーム  
大垣市綾野町
- 表佐ホーム  
不破郡垂井町表佐
- 習南ホーム  
不破郡垂井町表佐
- あいかわホーム  
不破郡垂井町